２０１５年度

学校関係者評価委員会
報告書

taiwa
THE ACADEMY OF HOSPITALITY

学校法人 大和学園

キャリエールホテル旅行

専門学校

Ⅰ．学校関係者評価委員会の目的

委員会は、本校が経営の現状と課題について適切に把握し、教育活動その他学校運営の改善を的確に行おうとしているかについて、自己評価の結果に基づき客観的に評価することを目的とする。(キャリエールホテル旅行専門学校　学校関係者評価委員会規則　第2条)

Ⅱ．2015年度 学校関係者評価委員会 開催概要

１．日　時　　2015年9月16日（水）　16時00分～17時15分

２．場　所　　キャリエールホテル旅行専門学校　（ダイニングルーム）

３．出席者　　委員長　学校法人　大和学園　評議員　北條　嘉久様
委　員　岩下　綾様
（TAKAMI BRIDAL 京都ホテルオークラ　マネージャー）
委　員　島田　克己様（株式会社JTB西日本　京都支店　営業第三課長）
委　員　吉浦　正博様（大津プリンスホテル　宿泊支配人）
委　員　柿原　宏幸様（キャリエールホテル旅行専門学校　同窓会会長）
事務局　楠井　秀和（キャリエールホテル旅行専門学校　校長代行）
事務局　安原　善則（キャリエールホテル旅行専門学校　教務部　部長）
事務局　山西　真弓（キャリエールホテル旅行専門学校　教務部）

４．議　事　　（１）自己評価結果についての説明
・各評価項目・自己評価・取り組み内容・評価の根拠について
（２）学校関係者評価委員による評価について
・自己評価に対して客観的な視点で適正に評価されているかの審議

Ⅲ．評価委員からの評価・意見および校内で検討した改善方策

評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目	（１）教育理念・目標	
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者などに周知されているかの項目について、4から3に下げたのはどういった理由か。		⇒特に保護者への周知については、更に強化できる余地があると考え、敢えて自己評価を下げた。

評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目　（２）学校運営	
・数値評価は何をもって算出しているか。	⇒長期経営計画・中期経営計画、学校運営方針などを体系的に策定しており、具体的な目標を定めている。また、評価項目に示された人事や給与などの規定も定められており、適正に運用されていると自己評価している。
評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目　（３）教育活動	
・学会での発表や、研修を増やすとはどういったことか。 ⇒学会・シンポジウムとして実施していることはあるが、この分野での学会は、あまり聞かない。	⇒特に教員については、現在学内で行っている集合研修の他に、新学校種への移行に向けて、学生の長期休暇の時期に学外の研修や学会に積極的に参加することを考えている。 ・観光関連の学会等にはどんなものがあるか、何か情報がおればご教示いただきたい。
評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目　（４）学修成果	
・業界全体の問題であるが、どうしたら早期辞職をとめ、異業種への流失をとめることができるのか。卒業生同士のコミュニティが何かできれば、少しは離職率が低くなる一助になるのではないか。 ・憧れから、現実をみてギャップに悩む現場のスタッフが多いように思う。現場で働く先輩から直接話を聞き、乗り越え方や経験談を聞くこともいいのではないか。	⇒姉妹校の栄養士校では卒業後教育に力をいれている。在学時のみならず、入学前や卒後に力をいれる。 ⇒学校と企業、卒業生と連携し、業界全体を盛り上げるために注力していきたい。
評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目　（５）学生支援	
・特になし	・特になし

評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目　（６）教育環境	
・ホテルという業種上、避難訓練は重視しており、年４回実施している。社内の担当メンバーも定期的に館内を点検するようにしている。	⇒消防計画を作成し直し、運用体制を整えた。今後、学生、教職員を参加させた避難訓練を定期的に実施する方向で計画している。
評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目　（７）学生の受け入れ状況	
⇒キャリエールで学ぶことの魅力を全面に出すことに力を入れることが入学者を集めることになるのではないか。 ⇒卒業生で成功した方のＰＲをどんどんしてはどうか。在校生や入学希望者が仰ぎ見る存在が、見える方がよい。	・今後の学生募集に際し、何かアドバイスをいただけないか。
評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目　（８）財務	
・特になし	・各学科の基盤を充実させ、財務状況を安定させたい。
評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目　（９）法令等の遵守	
・特になし	・特になし
評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目　（１０）社会貢献・地域貢献	
・昨年もＪＴＢが続けているボランティア清掃などに多数の学生の協力を得た。今後も引き続き連携いただき、地域と企業と学校の連携を強めていきたい。このような活動も大きく取り上げて旅行分野の募集に役立ててほしい。	⇒キャリエール校としても、今後も協力させていただきたい。

評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する改善方策
評価項目　（１１）国際交流	
⇒ホテル内では外国人の方の雇用は当たり前になってきている。中国・台湾のスタッフも年々増えている。 ⇒自社では現状いないが、海外の店舗もあるので今後は雇用もあり得る。 ⇒希望する学生には自国と日本の婚礼の違いなどを理解してほしい。	・留学生の雇用状況はどうか。 ・留学生に事前に指導しておくべきことはあるか。 ・ブライダル分野での受け入れ状況はどうか。希望する学生への指導はどのようなことか。

評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する改善方策
その他	
・卒業生の、早期離職を防ぐよう今後企業サイドも考えていきたい。学校サイドでは、マッチングをしっかりしていってほしい。 ・企業同士での連携を継続していくことにより今後のレベルアップにつながると考えています。 ・離職率を下げるべく、企業も考えないといけない。 ・道標に掲げていることは、企業サイドも目指すべく内容になっている。企業からも協力できることはしていきたい。	⇒次年度にむけて、いただいたご意見を参考にチャレンジしていきたい。

２０１５年度

学校法人　大和学園

キャリエールホテル旅行専門学校

学校関係者評価委員会

２０１５年度　キャリエールホテル旅行専門学校
学校関係者評価委員会

日時：２０１５年9月１６日（水）　１６：００～１７：００
場所：キャリエールホテル旅行専門学校　ダイニングルーム
委員：TAKAMI　BRIDAL　京都ホテルオークラ　マネージャー　岩下　綾　様
株式会社ＪＴＢ西日本　京都支店　営業第三課長　島田　克己様
大津プリンスホテル 宿泊支配人　吉浦 正博　様
キャリエールホテル旅行専門学校　同窓会会長　柿原　宏幸様
学校法人　大和学園　評議員　北條　嘉久様
事務局：校長代行　楠井　秀和
教務部長　安原　善則
教務部　　山西　真弓

次　第

１．開会あいさつ　：　楠井（２分）

２．委員長選出　　：　安原（１分）

３．議題
（１）自己評価結果についての説明
・各評価項目・自己評価・取り組み内容・評価の根拠について
：説明　　安原（１０分）

（２）学校関係者評価委員による評価について　：各委員　（５０分）
・自己評価に対して客観的な視点で適正に評価されているかの審議

４．連絡事項　　：　安原（１分）

５．閉会あいさつ　　：　楠井（２分）

2015年度　キャリエールホテル旅行専門学校　自己評価表

1. 学校の教育目標

ホテル学科

＜道標＞

1. ホテル業界を志す職業人としての豊かな人間性を養う
2. 人に感動を与えるホスピタリティマインドを培う
3. 国際社会に貢献できるホテル実務能力を身につける
4. ホテルサービスのプロにふさわしいコミュニケーション能力を高める

＜教育目標＞

ホテル学科　ホテルコース
1. ホテル宿泊部門のリーダーとして活躍できる専門知識・技能の習得
2. 理想のホテルをグランドデザインできるマネジメント能力の醸成
3. HRS3級取得を目指したホテル料飲部門の専門知識・技能の習得
4. グローバル社会に通用する情報活用能力とコミュニケーション能力の向上
5. 顧客のロイヤリティを高める、おもてなしの表現力とホスピタリティマインドの習得

ホテル学科　ホテル料飲サービスコース
1. ホテル料飲部門のリーダーとして活躍できる専門知識・技能の習得
2. 料飲施設の演出家としてのソムリエ・バーテンダーの素養の醸成
3. HRS3級取得を目指したホテル料飲部門の専門知識・技能の習得
4. グローバル社会に通用する情報活用能力とコミュニケーション能力の向上
5. 顧客のロイヤリティを高める、おもてなしの表現力とホスピタリティマインドの習得

ホテル学科　上級ホテルコース
1. 上質なホスピタリティサービスをトータルコディネートできる専門知識・接客技能の習得
2. 世界から訪れるお客様の満足度を高めるために必要な接客対応力と語学力の習得
3. HRS3級取得を目指したホテル料飲部門の専門知識・技能の習得
4. グローバル社会に通用する情報活用能力とコミュニケーション能力の向上
5. 顧客のロイヤリティを高める、おもてなしの表現力とホスピタリティマインドの習得

旅行学科

＜道標＞

1. 旅行業界を志す職業人としての豊かな人間性を養う
2. 人に感動を与えるホスピタリティマインドを培う
3. 国際社会に貢献できる旅行実務能力を身につける
4. 旅のプロにふさわしいコミュニケーション能力を高める

＜教育目標＞

旅行学科　旅行コース
1. 在学中の旅行業務取扱管理者の取得
2. 理想的な企画旅行や文化交流産業としての画期的な旅行商品の企画提案能力の習得
3. 旅行商品に関するセールス能力やコンサルティング能力の習得
4. グローバルな高度情報通信ネットワーク社会に対応したコミュニケーション能力の向上
5. 人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにするホスピタリティマインドの習得

旅行学科　ツアープランナーコース
1. 理想的な企画旅行や文化交流産業としての画期的な旅行商品の企画提案能力の習得
2. 独創的な募集型企画旅行のパンフレットの作成能力の醸成
3. 旅行商品に関するセールス能力やコンサルティング能力の習得
4. グローバルな高度情報通信ネットワーク社会に対応したコミュニケーション能力の向上
5. 人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにするホスピタリティマインドの習得

旅行学科　ツアーコンダクターコース
1. 在学中の国内旅程管理指定研修の修了
2. 観光客を最大限に楽しませることができるガイド実務能力の習得
3. 旅程の企画から旅程全体の管理に至るまでの実践的な旅行実務能力の習得
4. グローバルな高度情報通信ネットワーク社会に対応したコミュニケーション能力の向上
5. 人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにするホスピタリティマインドの習得

ブライダル学科

＜道標＞

1. ブライダル業界を志す職業人としての豊かな人間性を養う
2. 人に感動を与えるホスピタリティマインドを培う
3. 国際社会に貢献できるブライダル実務能力を身につける
4. ブライダルサービスのプロにふさわしいコミュニケーション能力を高める

＜教育目標＞

ブライダル学科　ブライダルコース
1. ブライダルの接遇プロフェッショナルとして活躍できる専門知識・技能の習得
2. ABC検定合格を目指したブライダル関連の基礎的な実務知識の習得
3. HRS3級取得を目指したレストランウエディング・宴会サービスの専門知識・技能の習得
4. グローバル社会に対応したコミュニケーション能力の向上
5. 感動や驚きを創出できる豊かな人間性とホスピタリティマインドの習得

ブライダル学科　ブライダルスタイリストコース
1. ブライダルスタイリストとして活躍できる専門知識・技能の習得
2. ABC検定合格を目指したブライダル関連の基礎的な実務知識の習得
3. HRS3級取得を目指したレストランウエディング・宴会サービスの専門知識・技能の習得
4. グローバル社会に対応したコミュニケーション能力の向上
5. 感動や驚きを創出できる豊かな人間性とホスピタリティマインドの習得

ブライダル学科　ウエディングプランナーコース
1. ウエディングプランナーとして活躍できる専門知識・接客技能の習得
2. ABC検定合格を目指したブライダル関連の基礎的な実務知識の習得
3. HRS3級取得を目指したレストランウエディング・宴会サービスの専門知識・技能の習得
4. グローバル社会に対応したコミュニケーション能力の向上
5. 感動や驚きを創出できる豊かな人間性とホスピタリティマインドの習得

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

ホテル学科

① ホスピタリティマインドと能動的なおもてなしの表現力を高める授業、イベントの展開
② 宿泊サービスにおける習得すべきコンピテンシーの明確化と指導体制の強化
③ 料飲サービスにおける顧客満足度を意識した、サービスアプローチ力の向上
④ グローバル化に適応する和魂洋才のスキルを身につけたホテリエの育成
⑤ 第一希望進路実現のための就職部との連携強化と、事業所との良好な関係構築
⑥ カテゴリーリーダーにふさわしい全国トップレベルの検定合格実績の創出

旅行学科

① 旅行学科の魅力度向上
② 旅行コースの満足度向上
③ ツアープランナーコースの満足度向上
④ ツアーコンダクターコースの満足度向上
⑤ 国内・総合旅行業務取扱管理者試験の全国トップクラスの目標達成
⑥ 高い第一希望就職・専門職就職率の目標達成

ブライダル学科

① 主要検定の全国トップレベルの高い合格実績の創出
② ブライダル有力企業への就職実績を確立する仕組みづくり
③ 料飲関連科目の授業内容の充実
④ ブライダルコースの業界対応力の向上
⑤ ブライダルスタイリストコースの接客マナーの向上
⑥ ウエディングプランナーコースのコミュニケーション能力の向上

2015年度　キャリエールホテル旅行専門学校　自己評価表

3.評価項目の達成及び取り組み状況

自己評価　　適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

（1）. 教育理念・目標

評 価 項 目	学科	自己評価	備考：取り組みの内容	備考：根拠となる資料の内容
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	共通	4	体系化した学園理念の下で教育理念（道標）を明確にして、さらには学科ごとに道標、コースごとに教育目標を定めている。	・道標 ・教育目標
・ 学校における職業教育の特色は何か	共通	4	それぞれの職業に必要なスキル教育だけに視点を置くのではなく、その前に「人間として必要なことがある」ということを重視するとともに、独自のカリキュラム内容で演習・実習等を中心に実践的な授業を展開している。特に、人の幸せを自分の幸せと考えることができるホスピタリティ精神の涵養について重きを置いている。なお、ホームページの「ごあいさつ」の部分に学科ごとの教育方針を記述している。	・学則の教育課程（カリキュラム） ・ホームページ「ごあいさつ」ページ
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	共通	4	10年後を見据えた学園ビジョン（長期経営目標）、学園の中期経営計画（中期経営目標）、各年度の学園運営方針を基に、本校の運営方針を、さらには学部、各学科の事業計画に具体的な目標設定をしてその達成に向けて取り組んでいる。また、それぞれの目標設定の際には社会経済の動向予測やニーズなどの把握をして計画を策定している。	・キャリエールホテル旅行専門学校 学校運営方針
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	共通	4⇒3	学生に配布する学生便覧（シラバス）に掲載するとともに、HPにも掲載している。	・STUDENT　HAND　BOOK ・ホームページ「ごあいさつ」ページ
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	共通	4	学校運営方針をもとに各学科事業計画を策定し、上期終了時に中間チェックを行っている。	・事業計画書

	① 課題
共通	・学生以外の保護者等ステークホルダーに対して、道標や教育目標の周知方法がホームページのみである。
	② 今後の改善方策
共通	・道標・教育目標が記載されている印刷物を入学式等で保護者に配布したり、郵送するなどし改善したが、保護者説明会で直接説明するなど、告知する機会を増やすことで学校の目指している目標や人材育成像の周知を図る。
	③ 特記事項
共通	・学園として10年先を見据えた長期経営目標、3年に1度の中期経営計画、単年度ごとの学園運営方針を体系的に策定し、その内容を学校ごとの学校運営方針、部署ごとの事業計画書、さらには教職員個々人の目標（チャレンジシート）に落とし込んで、それぞれの目標が達成できるように取り組んでいる。

（2）. 学校運営

評 価 項 目	学科	自己評価	備考：取り組みの内容	備考：根拠となる資料の内容
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	共通	4	長期経営目標、中期経営計画、学園運営方針、学校運営方針を体系的に策定している。	・長期経営目標 ・中期経営計画 ・学園運営方針 ・学校運営方針 ・事業計画 ・ホスピタリティ・レポート（学園概要＆SR報告書）
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	共通	4	各部署事業計画を学校運営方針に沿って策定している。	・学園運営方針 ・学校運営方針 ・事業計画
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	共通	4	法人の管理規則に明記され、規則に則り運営されている。	・コンプライアンスマニュアル（管理規則）
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	共通	4	法人において、人事規程、人事考課規程を定めている。	・コンプライアンスマニュアル （給与規程、人事規程、人事考課規程）
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	共通	4	法人の管理規則、経理規程に則り整備されている。	・コンプライアンスマニュアル （管理規則、経理規程）
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	共通	4	法人において、グループ・ガバナンスを構築し、全教職員にコンプライアンスマニュアルを配布し、周知徹底を図っている。	・コンプライアンスマニュアル（管理規則、庶務規程、情報セキュリティポリシー、プライバシーポリシーなど）
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	共通	4	入学案内書、ホームページ、ホスピタリティ・レポート（学園概要＆SR報告書）などを通じて、情報公開している。	・入学案内書 ・ホームページ ・ホスピタリティ・レポート（学園概要＆SR報告書）
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	共通	4	独自の業務支援システムを活用し効率化を図っている。	・業務支援システム

	① 課題
共通	・教育活動に関する情報公開は、実施しているが、授業評価結果などは、公開できていない。 ・現在の業務支援システムが導入され、十数年が経過しており、必要に応じて継続的に改修をしているが、改修内容によっては費用的なこともあり、先送りや運用で対応することがある。
	② 今後の改善方策
共通	・今後、さらに、様々な教育活動について情報公開していくとともに、授業評価結果の公開を検討していく。 ・現在の業務内容や教育システムを考慮して、新たなシステム導入について検討していく。
	③ 特記事項
共通	・各種規程・規則をまとめた「コンプライアンスマニュアル」において組織の意志決定や人事、給与に関する規程、セキュリティポリシーなどを定め、コンプライアンスの周知徹底をはじめリスクマネジメントの強化など、公正かつ透明性の高いグループ・ガバナンスを構築している。

自己評価　　適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

（3）. 教育活動

評 価 項 目	学科	自己評価	備考：取り組みの内容	備考：根拠となる資料の内容
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	共通	4	建学の精神、教育綱領、道標などの教育理念より教育目標を作成し、教育課程を体系的に策定している。	・道標 ・教育目標 ・学則 ・シラバス
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	共通	4	教育目標に沿ったカリキュラムを編成し、1,700授業時間以上を確保している。	・教育目標 ・授業時間数一覧
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	共通	4	教育目標に沿ったカリキュラムを編成し、2年間を4期に分けて、毎年、カリキュラムを見直し、改編を行っている。	・授業時間数一覧
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	共通	4	現場同様の施設・設備を利用した実践的な授業や、学外での各現場と連携した授業を企て、実施している。	・各授業のシラバス
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	共通	4	業界団体より教育課程編成委員を任命し委員と共に、カリキュラムの作成・見直しを行っている。	・教育課程編成委員会報告書
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	共通	4	1年次の夏にインターンシップを実施している。	・インターンシップ報告書
・ 授業評価の実施･評価体制はあるか	共通	4	全ての授業を対象に授業評価を実施している。	・授業評価アンケート見本
・ 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	共通	4	インターンシップ終了後のアンケートおよび事業所訪問時にインタビュー形式での調査を行い、評価を含め、その情報を元に、今後のカリキュラムを含めた教育に活用している。 また、外部関係者から学校関係者評価委員を任命し、委員からの評価を反映させている。	・インターンシップアンケート見本 ・学校関係者評価委員会報告書
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	共通	4	各科目60点以上を単位認定としている。	・学則
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	ホ	4	レストランサービス技能検定の国家試験の合格を目標に、1年次のカリキュラムから各授業を設定している。	・授業時間数一覧
	旅	4	国内・総合旅行業務取扱管理者の国家試験の合格を目標に、試験分野ごとの授業を設定している。	・授業時間数一覧
	ブ	4	レストランサービス技能検定の国家試験やブライダル関連資格の合格を目標に、1年次のカリキュラムから各授業を設定している。	・授業時間数一覧
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	共通	4	毎年の授業評価の結果をもとに、各科目の担当教員の見直しを行っている。また、関連事業所とのネットワークを通じて、より魅力的で指導力の高い教員を確保している。	・授業評価アンケート
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	共通	4	関連事業所からの講師派遣や人材派遣会社や現教員のネットワーク強化を図り、常に優れた教員の提供先を確保している。	・教育目標・シラバス
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	共通	4	夏季休暇時を中心に、幅広く研修を企画、実施し、教職員の経験年数や能力に合わせて、受講させている。	・研修一覧
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	共通	4	夏季休暇時を中心に、幅広く研修を企画、実施し、教職員の経験年数や能力に合わせて、受講させている。	・研修一覧

	① 課題
共通	・学内研修の充実を図るとともに、学会での発表や外部研修参加にも積極的に取り組んでいく必要がある。
	② 今後の改善方策
共通	・各企業等とのこれまでの関係・連携をさらに強めると同時に、教育課程編成委員会・学校関係者評価委員については、定期的に委員を改編し、継続的に実施することで関連業界における人材の専門性に関する動向、産業振興の方向性、新たに必要とされる実務に関するスキルなどを多元的な視点から把握し、教育課程の編成を行う。 ・各種業界団体や職能団体など主催の研修・セミナーなどにも積極的に参加していく。
	③ 特記事項
共通	・毎年教職員対象の研修を行い、指導力の向上や資質向上を図っている。

（4）. 学修成果

評 価 項 目	学科	自己評価	備考（根拠となる資料・取り組み）	備考：根拠となる資料の内容
・ 就職率の向上が図られているか	共通	4	各クラス担任と就職部とが連携し、サポート体制を強化し、就職指導科目の充実を図っており、毎年高い就職率を維持している。	・入学案内書 ・ホームページ「就職実績」
・ 資格取得率の向上が図られているか	共通	4	主要検定については、強化検定とし、対策授業や試験直前授業などを企てるとともに、e-learningなども効果的に利用しながら、高い取得率を維持している。	・入学案内書 ・ホームページ「資格・検定」
・ 退学率の低減が図られているか	共通	4	出欠動向や普段の学習態度などをしっかりと把握し、定期的な個人面談を実施し、担任サポートに力を入れている。	・年度別退学率データ
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	共通	3	定期的な同窓会報の発送や同窓会ホームページなどにより、卒業生の動向把握に努めている。	・事業所訪問履歴
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	共通	3	各事業所への訪問活動や卒業生によるセミナーなどを通じて、卒業後のキャリア形成の効果の把握に努めている。	・事業所アンケート

	① 課題
共通	・卒業生の活躍、評価の把握に努める必要がある。 ・在学中からの職業観の醸成による早期離職の防止に努める必要がある。
	② 今後の改善方策
共通	・卒業生自身が、近況報告していくように、従来からの同窓会報やHP、元担任とのつながりに加えて、SNSなどの効果的な利用方法を検討していく。 ・卒業生がお世話になっている事業所を中心に、卒業後のキャリア形成への効果について伺う機会（訪問やアンケートなど）を設けていく。 ・基礎学力向上講座や就職試験筆記対策（一般常識問題対策）などの授業により、学習方法の理解や継続学習の習慣をつけさせる。 ・本校独自の奨学金制度の充実と学生支援機構奨学金や学費ローンなどを入学前より、しっかりと告知し、計画的な学費納入を保護者ともども、考えていただくようにする。 ・自身の将来像をしっかりと描かせるためにも、卒業生や業界人などのキャリアモデルを見せ、魅力ある体験談などを聞かせる。また、教職員自体が憧れの存在となるように人間的魅力の向上に努める。 ・業界・事業所研究と自己分析に力を入れ、適切なマッチングとなるようにサポートしていく。 ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価については、事業所アンケートを実施しその把握に努める。
	③ 特記事項
共通	・資格検定の取得を卒業要件とすることで学生のキャリアアップと就活力の向上を図っている。

自己評価　　適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

（5）. 学生支援

評 価 項 目	学科	自己評価	備考（根拠となる資料・取り組み）	備考：根拠となる資料の内容
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	共通	4	就職サポート専属の部署と各クラス担任とが連携し、就職関連授業及びホームルームや個人面談を通じて、就職支援体制を整えている。	・業務分掌
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	共通	4	担任制度を設けており、日々の学生動向の確認とともに、全学生対象の学生面談を実施している。また、カウンセリング制度を設け、カウンセラーによる相談も可能にしている。	・業務分掌 ・教務規定
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	共通	4	独自の特待生・奨学生制度や学費延納制度、教育ローンの紹介など整備している。	・大和学園特待生奨学生制度要項
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	共通	4	校医を1名配置している。また、前期・後期に健康チェックシートを提出させ、学生の健康状態の把握に努めている。	・検査結果 ・アンケート集計結果
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	共通	4	京都府専修学校各種学校協会の体育大会に向けての練習サポートや、資格検定や関連分野の課外講座なども実施している。	・各報告書
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	共通	4	住居の支援体制を整え、担任が生活環境の不安の相談など解消にあたっている。	・募集要項
・ 保護者と適切に連携しているか	共通	4⇒3	就職活動学年の保護者に対して、就職説明会を実施している。また、学生の成績・出席状況などを定期発送している。	・就職説明会、保護者参観授業実施要領
・ 卒業生への支援体制はあるか	共通	4	同窓会報やホームページを通じて、再就職サポートに力を入れている。また、直接相談についても随時、受け付けている。	・ホームページ「OB・OGサイト」 ・同窓会規則 ・同窓会報
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	共通	4	社会人を経ての入学生についても、分け隔てなく、サポート、指導している。また、同じ立場の学生同士のクラス分けについても配慮している。	・業務支援システムの外征指導歴
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	共通	4	高等学校との職業理解やマナー修得を目的に見学会や連携授業を実施している。	・教育提携覚書 ・見学会実施要領

	① 課題
共通	・保護者の学校理解（規定、教育、就職サポートなど）促進をさらにに努める必要がある。 ・社会人層が学びやすく、目標・目的を達成できる教育機関である事をしっかりと告知する。 ・卒業生との継続的な繋がりが必要。
	② 今後の改善方策
共通	・郵便発送、説明会・セミナーなどを通じて、保護者への定期的な情報提供を実施し、本校教育の取り組みに対する理解促進につなげていく。 ・入学案内書やホームページなどで、社会人層在校生の動向や資格取得・就職実績を紹介していく。 ・生涯学習担当部署と連携しながら、社会人向け、単発・短期講座やセミナーの企画・実施を検討していく。 ・最も学生との接触が多い担任団と就職支援専属部署との連携強化を図り、学生一人ひとりの情報をしっかりと共有していくと同時に、求人や事業所情報についても、双方向の共有を図る。 ・卒業生に対するサポート体制を在学中及び卒業後においても、同窓会報やホームページなどで、継続して告知、発信し、理解促進に努める。 ・保護者アンケートを実施し、保護者からの学校へのニーズや満足度の把握に努める。
	③ 特記事項
ホ	・学園内でのハラスメント委員会を配置し、ハラスメントゼロに取り組んでいる。 ・HRSサービスコンクールへの参画や出場学生のサポートを行っている。 ・就職活動に必要な知識・スキル・マナーを学習する授業がカリキュラム化されている。
旅	・学園内でのハラスメント委員会を配置し、ハラスメントゼロに取り組んでいる。 ・就職活動に必要な知識・スキル・マナーを学習する授業がカリキュラム化されている。
ブ	・学園内でのハラスメント委員会を配置し、ハラスメントゼロに取り組んでいる。 ・就職活動に必要な知識・スキル・マナーを学習する授業がカリキュラム化されている。

（6）. 教育環境

評 価 項 目	学科	自己評価	備考（根拠となる資料・取り組み）	備考：根拠となる資料の内容
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	共通	4	2008年に増改築し、2013年には、各種PC教室をリニューアルするとともに、毎年、新年度に向けて、細かな修繕・改修を重ねている。	・施設・設備パンフレット
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	共通	4	インターンシップを卒業必修単位として定め、事前指導から評価まで体系的な教育体制を整えている。	・インターンシップ報告書
・ 防災に対する体制は整備されているか	共通	4⇒3	防災のための点検区分・担当者とその任務及び火気取扱責任者を任命し、体制を整え、防災に取り組んでいる。	・消防計画 ・火気取扱責任者

	① 課題
共通	・校舎建築から23年、増改築から5年が経過し、所々、修繕が必要とされる箇所が出てくる時期である。 ・教職員の防災に対する体制は整備されいるが、学生にも防災意識を醸成させていく。
	② 今後の改善方策
共通	・常日頃から、校舎の見回り、チェックを怠らず、修繕が必要な場合は、即座に対応していく。 ・特別セミナーやホームルームなどを通じて、防災に関する講義を企画する。
	③ 特記事項
共通	・Web上で国家試験対策ができるようe-Learningを活用している。

（7）. 学生の受入れ募集

評 価 項 目	学科	自己評価	備考：取り組みの内容	備考：根拠となる資料の内容
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	共通	4	6月以降にAO入学エントリーを開始し、8月以降に出願受付。その他、一般入試等については、10月以降に出願を受け付けている。	・入学要項
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	共通	4	就職率や資格・検定合格率については、関連部署に確認を取ったうえで入学案内書に掲載している。	・入学案内書
・ 学納金は妥当なものとなっているか	共通	4	健全な財務運営や入学者の家計における学費負担などを勘案し、奨学金制度なども含めて、毎年1月に、翌々年度の学納金の額を検討し、決定している。そのことによって学校選択の際には入学希望者があらかじめ学納金を把握できるようにしている。	・入学要項

	① 課題
共通	・特になし。
	② 今後の改善方策
共通	・特になし。
	③ 特記事項
共通	入学希望者は学校選択をする際に学納金の額を確実に把握できるよう、早期に学納金を決定している。

自己評価　　適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

（8）. 財務

評 価 項 目	学科	自己評価	備考：取り組みの内容	備考：根拠となる資料の内容
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	共通	4	各校ともに入学者を確保できており、予算に基づく適切な収支のバランスが保持できており将来を見据えたキャッシュフローも確保でき、財務基盤の強化が図れている。	・2014年度決算書
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	共通	4	毎年事業計画に則り収支バランスのとれた予算を策定し、執行に際しても管理徹底を行っている。	・事業計画書
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	共通	4	月次決算報告会を実施し、学園監事による執行状況のチェックを毎月実施している。	・月次報告会議事録
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	共通	4	データ集（大和学園グループの財務状況）をホームページにて公開している。	・データ集「大和学園グループの財務状況」

	① 課題
共通	・18歳人口の大幅減少を見据えた健全な財務運営
	② 今後の改善方策
共通	・新たな教育分野の開拓や定員増等収入の安定確保に繋がる中長期財務計画の策定と取り組み
	③ 特記事項
共通	・特になし

（9）. 法令等の遵守

評 価 項 目	学科	自己評価	備考：取り組みの内容	備考：根拠となる資料の内容
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	共通	4	法令遵守はもとより、学園内の諸規程を整備し、すべての規程をコンプライアンスマニュアルという名称で全教職員に配布し周知を図って、適正に運営している。 学則（教務課程）の見直しは毎年行い、法令に従って都度届出等を行っている。	・コンプライアンスマニュアル ・学則
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	共通	4	個人情報に関する独自の規程を定め、問題が起きた際の対処フローも決めて、徹底を期している。 また、学生に対してもSNS利用のためのガイドラインを示すとともに、個人情報保護に関する啓発をしている。	・情報セキュリティポリシー ・プライバシーポリシー ・SNS利用のためのガイドライン
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	共通	4	多元的点検評価と称して、重視度調査・授業評価・満足度調査を学生に対して実施、アンケートで出てきた改善点を学校運営、授業運営に反映している。また、「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいた自己評価を実施し、今後の目標設定や改善の取り組みに活用している。	・授業評価アンケート報告書 ・自己評価表
・ 自己評価結果を公開しているか	共通	4	ホスピタリティ・レポート（学園概要＆SR報告書）に卒業時の満足度調査と授業評価の結果について学園の平均点を掲載している。 学科別に自己評価表をHPに公開している。	・ホスピタリティ・レポート P28「教育サービスの向上」 ・HPの職業実践専門課程ページ

	① 課題
共通	・特になし
	② 今後の改善方策
共通	・特になし
	③ 特記事項
共通	・2013年度以降、自己評価結果に基づき、学校関係者評価委員会を開催している。各分野の企業等から委員を招聘し、そこでいただいた意見を学校運営に活かしている。

（10）. 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	学科	自己評価	備考：取り組みの内容	備考：根拠となる資料の内容
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	共通	4	各種団体に対し、様々な講習会等を実施するために学校の施設を提供している。	（活動例） ・祇園祭講習会 ・年末特別講習会
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	ホ	4	学生が地域の方々とふれあえるイベントを実施している。	（活動例） ・高齢者福祉施設訪問
	旅	4	・学生が地域の方々とふれあえるイベントを実施している。 ・学校行事の中に学生のボランティア活動を組み込んでいる。 ・地域の観光産業振興に向けて旅行学科の学生がモニターツアーに参加した。	（活動例） ・高齢者福祉施設訪問 ・鴨川清掃 ・研修旅行中の熊野古道普請 ・京都京北　教育旅行モニターツアー
	ブ	4	学生が地域の方々とふれあえるイベントを実施している。	（活動例） ・高齢者福祉施設訪問
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	ホ	3	併設しているスクール事業において、ワイン、料理、マナーなどの公開講座を実施している。	・ラ・キャリエールパンフレット
	旅	3	・併設しているスクール事業において、旅行会社からの依頼を受け、料理などのインバウンド講習会を実施している。	・ラ・キャリエールパンフレット
	ブ	3	併設しているスクール事業において、ワイン、料理、マナーなどの公開講座を実施している。	・ラ・キャリエールパンフレット

	① 課題
共通	・併設するスクールで実施している地域に対する公開講座・教育訓練に講師派遣などで参画しているが、専門学校単独事業としての実施はしていない。
	② 今後の改善方策
共通	・地域の方も参加していただける地域に開かれたイベントの開催を検討する。
	③ 特記事項
共通	・社会貢献・地域貢献に関する詳細はホスピタリティ・レポート（学園概要＆SR報告書）および、 学園ホームページ（http://www.taiwa.ac.jp/sr/）参照。

自己評価　　適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

（11）. 国際交流（必要に応じて）

評 価 項 目	学科	自己評価	備考：取り組みの内容	備考：根拠となる資料の内容
・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	共通	4	留学生用の入学案内書および入学要項、奨学金・住居サポートのパンフレットを作成し、留学生対象のガイダンスへの参画や日本語学校への訪問などで募集活動を行っている。 また、在学生に対し海外留学制度を設けている。	・留学生パンフレット ・入学要項 ・サポート制度のご案内 ・訪問計画 ・入学案内書「海外留学・研修プログラム」
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	共通	4	留学生の受入れについて、留学生用の入学案内書および入学要項、奨学金・住居サポートのパンフレットを作成し、留学生に安心して入学してもらえるよう案内している。 また、大阪入国管理局からの留学生実態調査に毎年回答し提出している。	・留学生パンフレット ・入学要項 ・サポート制度のご案内 ・留学生実態調査回答用紙
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	共通	4	教務部において留学生カウンセラー制度を設け、面談を必要に応じて行っている。	・業務支援システムの学生指導履歴
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	共通	4⇒3	国内のサービスコンテストに参加し、表彰を受けている。イギリスやオーストラリアへの海外実務研修を実施しており、ホテルや旅行会社にて業務に携わり、高い評価を得ている。 また、英文での卒業証明書、成績証明書を発行している。	・海外留学報告書

	① 課題
共通	・留学生の入学実績が少ない。
	② 今後の改善方策
共通	・ガイダンスや日本語学校訪問を積極的に行い、留学生の入学実績を増やしていく。 ・留学生の卒業後の就職支援を強化すべく、事業所との連携を強化していく。
	③ 特記事項
共通	・特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

ホ	長期経営目標・中期経営計画をもとに、学園運営方針、学校運営方針が策定され、教職員が同じ方向を向いて学校運営に取り組んでおり、各制度、システム、体制が整備されている。ホテル学科は、顧客対応に必要な能動的態度とコミュニケーションスキルを強化し、「理論と実際」をより深く融合させた職業型実学教育の充実を図ることで確かな語学力と洗練されたホスピタリティセンスを兼ね備えた世界に通じるホテリエの養成をめざした。各業界関連資格については、対策授業や資格サポートシステムなどにより、常に高い資格取得率を維持できている。今後も、各現場で必要とされる知識・技術等に結びついた資格・検定の取得に注力したい。 また、定期的な授業評価の実施により、各授業の良い点、改善点を見出し、より満足度の高い、そして実践的かつ専門的な職業教育が各授業において実施おり、さらに学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会を通して関連分野の企業や業界団体等とのさらなる連携強化により企業・業界等の要請等を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育の実施につなげていきたい。 就職に関しては、就職率の向上のみならず、就職実績の質的向上についても図られているが、職業観の醸成、企業とのマッチングなどを意識しながら、卒業生の早期離職の防止に努めていく。また、卒業生の活躍や評価を正確にかつ、タイムリーに把握し、それらを職業教育、就職関連授業の改善に活かしていきたい。
旅	長期経営目標・中期経営計画をもとに、学園運営方針、学校運営方針が策定され、教職員が同じ方向を向いて学校運営に取り組んでおり、各制度、システム、体制が整備されている。旅行学科は、国家試験および資格検定に強い試験対策の充実と「熱意」「行動力」「協調性」などの社会人基礎力を高め、旅程企画からセールス、添乗に至るまでの実務能力を兼ね備えた旅のプロの養成を図った。各業界関連資格については、対策授業や資格サポートシステムなどにより、常に高い資格取得率を維持できている。今後も、各現場で必要とされる知識・技術等に結びついた資格・検定の取得に注力したい。 また、定期的な授業評価の実施により、各授業の良い点、改善点を見出し、より満足度の高い、そして実践的かつ専門的な職業教育が各授業において実施おり、さらに学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会を通して関連分野の企業や業界団体等とのさらなる連携強化により企業・業界等の要請等を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育の実施につなげていきたい。 就職に関しては、就職率の向上のみならず、就職実績の質的向上についても図られているが、職業観の醸成、企業とのマッチングなどを意識しながら、卒業生の早期離職の防止に努めていく。また、卒業生の活躍や評価を正確にかつ、タイムリーに把握し、それらを職業教育、就職関連授業の改善に活かしていきたい。
ブ	長期経営目標・中期経営計画をもとに、学園運営方針、学校運営方針が策定され、教職員が同じ方向を向いて学校運営に取り組んでおり、各制度、システム、体制が整備されている。ブライダル学科は、1年次より体系的にプレゼンカと表現力を高めて、ブライダル業界活性化プロジェクトとして新たなビジネスモデルを提案できる卒業研究発表会を開催し、本校独自の婚礼セレモニーの専門化を図った。そして、業界や多彩な講師との連携により、即戦力として活躍できる質の高い人材の養成に取り組んだ。各業界関連資格については、対策授業や資格サポートシステムなどにより、常に高い資格取得率を維持できている。今後も、各現場で必要とされる知識・技術等に結びついた資格・検定の取得に注力したい。 また、定期的な授業評価の実施により、各授業の良い点、改善点を見出し、より満足度の高い、そして実践的かつ専門的な職業教育が各授業において実施しており、さらに学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会を通して関連分野の企業や業界団体等とのさらなる連携強化により企業・業界等の要請等を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育の実施につなげていきたい。 就職に関しては、就職率の向上のみならず、就職実績の質的向上についても図られているが、職業観の醸成、企業とのマッチングなどを意識しながら、卒業生の早期離職の防止に努めていく。また、卒業生の活躍や評価を正確にかつ、タイムリーに把握し、それらを職業教育、就職関連授業の改善に活かしていきたい。